総合スポーツセンター整備・市内体育館再編に係るこれまでの経緯及び今後の方向性について

資料２

令和３年３月２４日　スポーツ推進審議会資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年月日 | 総合スポーツセンター整備構想 | 体育館再編 |
| 平成２６年９月 | 基本構想・基本計画の策定について、宗像市総合スポーツセンター整備審議会に諮問 |  |
| 平成２６年９月  　　　～２７年７月 | 第1～6回　宗像市総合スポーツセンター整備審議会 |  |
| 平成２７年７月 | 基本構想・基本計画の策定について、宗像市総合スポーツセンター整備審議会から答申  スポーツ観光要素が含まれる  ⇒総合スポーツセンター基本構想・基本計画  基本的な考え方：スポーツ観光にも対応した機能・設備を確保  　　・市民ニーズにこたえる場(機能)の充実  　⇒観客席、冷暖房、フロア面積、収納スペースの整備  　　・大会等開催基準等に対応した規模、機能の確保  　　・推進のためのセンター（中核拠点）機能の整備　⇒総合的に支援をする機能、バリアフリー  　　・既存の武道館関係施設に不足している機能の充実　⇒大会開催に必要な控室、観覧スペース等の整備 |  |
| 平成２７年８月 | 総合スポーツセンター整備事業調査特別委員会の調査報告にて、抜本的に見直す必要がある旨の提言  　国の制度改正に伴い、交付金の確保が困難となった。  (※一般財源が当初計画の16億円から33億円に倍増。本市の財政運営への大きな負担)  　本特別委員会として以下の項目を提言する。  　１　財政面から総合的に判断し、計画については、抜本的な見直しを求める。  　２　建設時期について資材の価格高騰や職人不足による建設工事費の高騰等を考慮。  　３　建設を行う際は、以下の３点に努めること   1. 最小限の費用で最大限の効果、（２）市民ニーズの調査、意見集約、将来の財政負担についての市民への説明、（３）施設整備の候補地についても交通の利便性、安全性の考慮を。   ４　既存の３体育館のあり方については、再検討を。  ５　資金については、計画的に積み立ての検討を。 |  |
| 平成２７年１０月 | 総合スポーツセンター整備の抜本的な見直しについて、庁議にて承認  ⇒「総合スポーツセンター整備の抜本的見直しについて」  　・総合スポーツセンターの整備は将来に送る。  　・既存3体育館は計画的な保全や改修を実施し、継続使用とする。  　・総合スポーツセンターが整備するまでの間、市民体育館を中核拠点整備として暫定的に位置づけ、スポーツサポートセンター機能の付加など必要最低限の施設整備を実施する。  　・将来の施設整備に備えた基金の造成を検討する。 |  |
| 平成２７年１１月 |  | 公共施設アセットマネージメント推進計画 |
| 令和２年３月 | **○総合スポーツセンター整備の結論付け(案)**  ・スポーツ推進審議会において、①総合スポーツセンターのあり方  ②体育館施設整備の方向性　2点について検討 (R3.4～)  　　　　↓  ・市の方針決定。(～R7.3） | 公共施設アセットマネージメント推進計画（改訂版(第1期前期の検証)）  ・市民体育館（集約化）  法定耐用年数経過時(第2期前半（2030～34）)に更新  　更新時までに勤労者体育センターとの集約化検討  ・勤労者体育センター、弓道場（廃止）  　法定耐用年数経過時(第1期後半（2025～29）第2期前半に廃止（解体）  　廃止時までに市民体育館との集約化検討  ・玄海Ｂ＆Ｇ海洋センター（現状維持）  　施設の長寿命化を図る |